

～老人クラブの運営について～

【質問】 年々会員数が減少する中、加入促進に努めているが、新規の会員は殆どない。このままでは、地域の単位老人クラブ組織が、解散や休止に追い込まれることも想定される。例会へ行く手段が無いという理由から会員が減り、組織の維持もままならない状況もある。何か良い手立てがあれば、ぜひご教示いただきたい。

【回答】 現在の60歳代の方は、現役で就労している方が多いことから、老人クラブの加入にはなかなか結び付かないものかと思われます。行政区活動や、公民分館活動などで積極的な活動をしていた60歳代の方などを積極的に勧誘していただくことが良いのではないかと考えます。会員皆さんの積極的で活発な活動により、地域に住んでいる方達が刺激を受け、多世代間のコミュニティが生まれてくるものではないかと思われますし、それが老人クラブ会員の新規加入に繋がるものと考えます。

例会などの参加に伴う交通問題については、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが地域におけるニーズ調査を行っておりますので、その結果を受け、改善に向けてどのような方向性で進めたら良いか、今後検討していきたいとは考えており。一つの案として、タクシーなどで乗り合わせるようにし、その費用は、各老人クラブの例会費などで支出してはいかがでしょうか。

【再質問】「声掛けをしたが、“まだ早い”、“すぐ役員にされるから入らない”と言われる。一昔前は、老人クラブに入れば温泉に行ける、普段見れないものを見れる。というのが魅力だったが、今は車を持っている人が多く老人クラブに入らなくても自由にいくことができる。コロナ感染拡大前はレクリエーション大会とか集まりとかがあったが、今は以前のようにできなくなった。」

【回答】「時代の変化がある中でどのようにしていくかというのは解決策として大変難しいところがあると思います。なかなか打開策と言うのは申し上げることができなくて申し訳ないのですが、まずは皆さんが集まった中でお互いにお話しする時間こそが大変有意義なものでございますので、まずはこの部分を再開していただくことが活動意義につながるのではないかと思います。」

～高齢者の除雪問題について～

【質問】 冬期道路の排雪作業については、他市町村と比して高い評価を得ていると思います。融雪機の普及も有り、自宅前の残雪の処理効果は顕著なものでありますが、住民の年齢構成により、または一人住まいの者には残雪の始末が大変です。何か良い方策は無いでしょうか。

【回答】 介護保険の要支援又は要介護認定を受けている方や身体に重度障がいのある方、地域ケア会議により除雪サービスの提供が必要と判断された世帯などについては町の除雪サービスを利用することができます。除雪サービスをご利用できない方につきましては、大変申し訳ございませんが、ご自身で民

間事業者などにご依頼していただくことになるかと思えます。民間事業者につきましては、町で把握している事業者については事業者名をお知らせすることも可能です。

【再質問】「清水川道路は冬季間通行止めになっている。なぜ通行止めするのか。その場所に農地があるため春の時期に合せ早めの除雪をお願いしたい」

【回答】「住宅が無い部分につきましては冬期間除雪をしていない現状でございます。3月の雪解け時期の除雪については道路を開通するために雪を跳ねますのでこの時期を早めることは可能だと思っております。時期の調整を少し早めていきたいと考えております」

【再々質問】「あくまでも冬期間は通行止めするということか」

【回答】「今後も通行止めは継続させていただきたいと考えております」

【再々々質問】「15分もあつたら除雪できる。燃料の節約と聞くがそれほど消費するものではないのでは？」

【回答】「これまで町として判断させていただいているところは生活路線ということが基本になります。町内の除雪総延長というは大変な距離で、これをどうやって効率的に回していくか、また朝皆さんの通勤される時間に間に合わせるかというのも大変重要な課題であります。冬期間閉鎖の道路は他にもありますが、一つの基準の中で判断をさせていただいております。ご理解を頂きたいと思えます」

～ヒューマン道路の有効活用について～

【質問】市街5区と9区の境目に、水が流れ、幾つかの花壇と樹木・草地があり、芝刈り機による定期的な除草もされているヒューマン道路がある。ここを町民憩いの場とし、ベンチ・水飲み場・花壇の見直し、将来の花見会場にするための苗木移植など、大がかりな手直しをする事は可能か。

【回答】「ヒューマン道路」が整備されてから長い年月が経過し、これまで維持補修を実施してまいりました。ただし、パーゴラ等の一部施設は劣化が進み、倒壊する危険性があることから撤去したものがございます。大規模改修につきましては検討しましたが、同改修で約1,900万円かかることから、実施を断念した次第です。なお、樹木の整備については、町総合計画の中、令和6年度で実施する事を検討しております。

～図書館の改善について～

【質問】冊数と床面積のバランスが悪いのでは。下段の図書が見にくく、年寄りには補助椅子が必要。

【回答】ゆっくり本を選んでいただけるよう座敷椅子を購入し、必要な方に貸し出すようにしたいと考えております。また、借りたい図書があるかどうかは、職員にお知らせいただければ、検索し貸出することも可能ですので、ご利用いただければと存じます。

【再質問】「最下段と2段目に並んでいる図書は高齢になると見づらい。キャスターのついた椅子があると助かる」

【回答】「車輪付きの椅子も検討しましたが、態勢を崩すと転倒する危険性なども配慮して今回は座敷椅子を購入することにしました。安全性が確保できそうであれば車輪付きのものも検討してまいります」

～来町者への農産品PRについて～

【質問】当麻町は、花きの生産量を誇っているが、町の中にその姿を見ることがあまりない。より対外的にPRする方策と対応が必要。

【回答】バラは子育て支援図書贈呈事業にて、1歳～6歳のお子さんのお誕生日に絵本とともに花束を贈らせていただいております。また、花きはコロナ禍においても、ブランドを継続して守っていただくため「とうま花いっぱい応援事業」として、公共施設をご利用いただいた方に、フラワーアレンジメントを設置する取り組みを行っております。また、道の駅とうまに隣接するJA当麻直売所において、お盆お彼岸の期間を中心に大雪の花の販売もしております。

～戸別氏名入りの当麻町地図の配布について～

【質問】戸別氏名入りの当麻町地図の配布は可能か。

【回答】以前、商工会で作成し全戸配布していましたが、個人情報保護法による個人情報となり、これを配布することができなくなりました。ご理解願います。

～その他～

【質問】「東の採石場から流れる水が自分の水田に流れている。対策をお願いしたい」

【回答】「現場を見て回答させていただきたいと思います。」

【質問】「当麻と桜岡の境界に住んでおり、まだ車を運転できるからよいが、近くの人で車がない人は声かけをして一緒に行ったりしている。またごみの収集場所が遠い人などは運ぶのが大変である」

【回答】「買い物支援バスという独自の取り組みをさせていただいております。また買い物のときにお声かけをいただいていることは地域コミュニティを活性化して維持する上で大事なことだと思います。あらためてお礼を申し上げます。ごみの収集場所については引き続きお声を頂きながらどういう方策が望ましいのか考えていきたいと思っております」